

「回収」ぼったくり」報道に抗議

JRRC ネガキャン再燃 危機感

日本リユース・リサイクル回収事業組合（JRRC）が総会で、回収事業者のネガティブキャンペーンが再燃している」と危機感を示した。

5月末からNHKや民放で、「回収業者」ぼったくり業者」と誤認されるような報道が相次ぎ、その影響を受け適切な回収を行う事業者に影響が出ている



岩瀬勝一代表

自治体を説明行脚



JRRCの総会で最近の報道に関し情報を共有した

と云う。同組合の理事で国内最大級の中古品輸出業社浜屋は、「6月から2〜3割仕入れ量が落ちた」と話し

た。

JRRCはこれを受け、マスコミに抗議申し入れを行うなどしている。同協会の岩瀬勝

一代表は、「法外に高額な請求を行う。頼んでいないものを回収していくなどの一部の悪徳業者の行動に足を引っ張られている。全ての回収業者がぼったくりであるかのような報道を是正してもらおう働きかけているが、自分たちでもしっかりと法令を遵守し、JRRCという安心できる団体があるという認知を広げていきたい」と話した。

同協会は環境省や消費者庁と打ち合わせて

独自にガイドラインや回収伝票をつくり、自治体に説明行脚を行っている。自治体と信頼関係を築くことで、適正な事業者と悪質な事業者の違いへの理解を深めてもらう方針だ。

ただし、会員企業からは現行法にのっとり「良品以外は回収できない」と言つと消費者から選択してもらえないなどの問題も提起された。違法な空き地回収業者の姿も再び増えていると言つ。

ト「R2」を取得

中古PCなど扱うアンカーネットワークサービス（東京都葛飾区）が6月、「R2」認証を取得した。

R2 (Responsible)

リサイクル基準順守

導のもと、米国の非営利団体SERIが運営管理している。アンカーは、セキュリティや法令順守、環境保護などに関して厳しい基準をクリ